

常設展示 埼玉の人物



—埼玉県最初の民権結社—

七

名社

の  
人  
々

中村孫兵衛外六名・七名社々員記念写真（中村(宏)家文書254 埼玉県立文書館収蔵）  
後列左から 中村孫兵衛、小泉寛則、長谷川敬助、石川弥一郎 前列左から 鯨井勘衛、稲村賢一郎、石坂金一郎

2018  
1/23<sup>火</sup> ~ 4/22<sup>日</sup>

会 場 埼玉県立歴史と民俗の博物館 常設展示室

開館時間 9:00 ~ 16:30 (観覧受付は16:00まで)

休 館 日 月曜日 (ただし2/12、3/26、4/16は開館)

観 覧 料 一般 300 円 (200 円) 高校生・学生 150 円 (100 円)  
\* ( ) 内は20人以上の団体  
\* 中学生以下と障害者手帳等をお持ちの方(付添1人を含む)は無料

主 催 埼玉県立文書館

共 催 埼玉県立歴史と民俗の博物館

問 合 せ 埼玉県立文書館 (電話 048-865-0112)



さいたまけんりつもんじょかん  
埼玉県立文書館  
Saitama Prefectural Archives



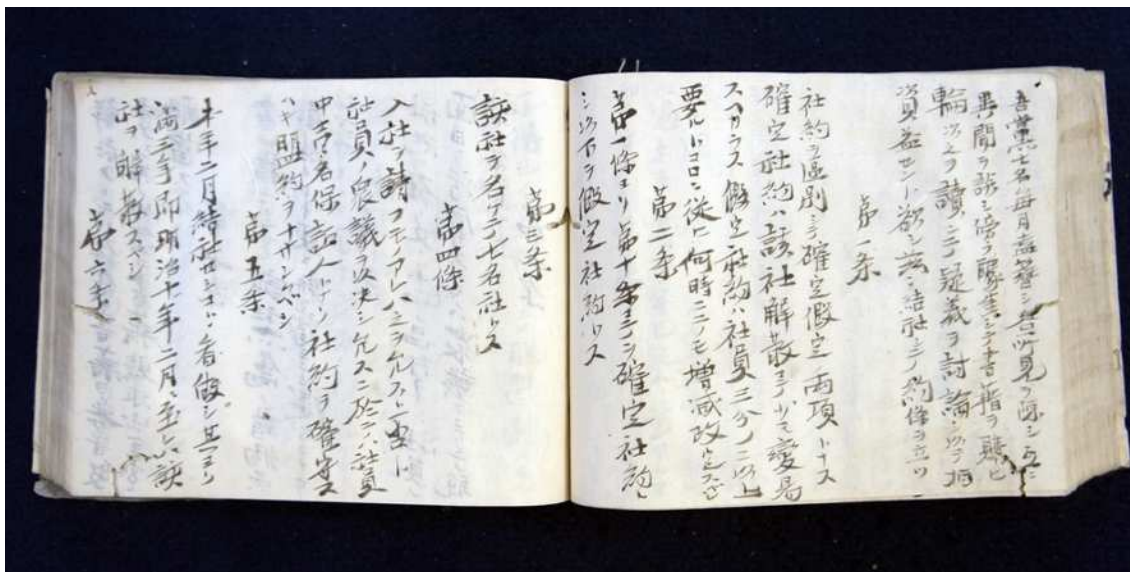
# 1 七名社の誕生

明治維新以後、それまでの藩や村々のつながりが弱まり、人々は新たな連帯のかたちを求めていました。結社はそうした試みの一つであり、明治10年代には全国で多くの結社が作られ、新政府に対して政治的権利の拡大や集会・表現の自由などを求めて行われた自由民権運動の担い手となりました。そのなかでも早い時期の結社に七名社があります。

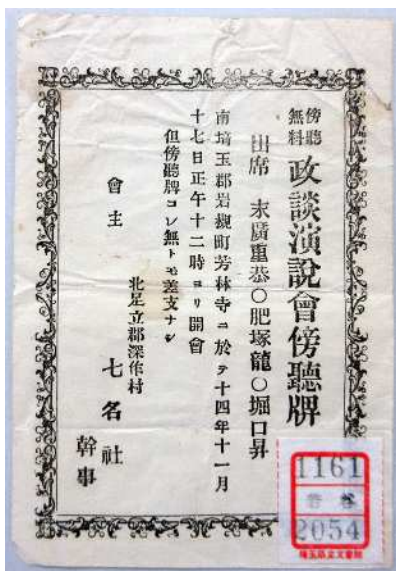
七名社は、明治8年(1875)2月、熊谷宿の旧本陣家の石川弥一郎が近郊の豪農の友人たち、長谷川敬助、稲村貫一郎、中村孫兵衛、石坂金一郎、鯨井勘衛、小泉寛則に呼びかけて作られた結社です。七名社は毎月、原島村(現熊谷市)の養平寺などで集会を行い、それぞれの意見を述べ合い、情報を交換し、お金を出し合って購入した書籍を輪読するなどの活動をしました。やがて七名社は社員を増やし、進修会などの関連する結社も生まれました。そこでは学習に加えて、新しい文化となった演説会も開催され、国会・県会の開設などの政治論から経済論、教育論までがテーマとなりました。



1 七名社々員記念写真(中村(宏)家 254)  
明治40年(1907)年に、創立メンバーで撮影した記念写真。

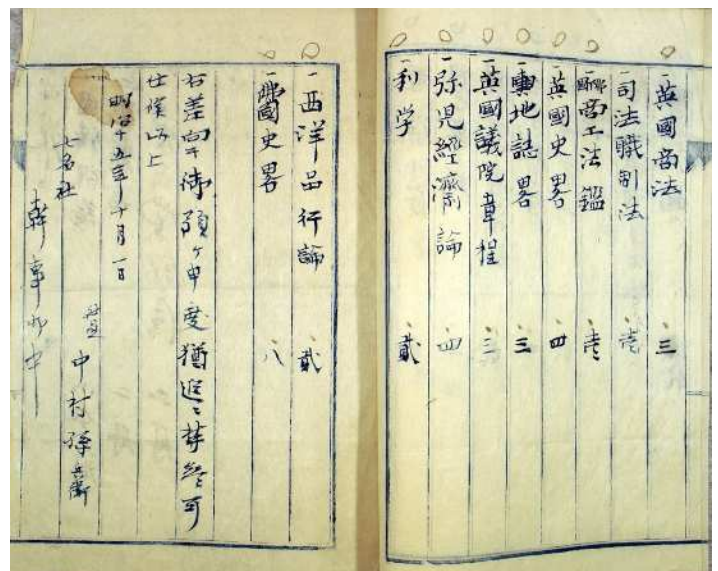


3 七名社規約写  
(中村(宏)家 57)  
中村孫兵衛の手控(メモ)に記された、七名社の規約(冒頭部分)



6 政談演説会  
傍聴牌  
(若谷家 2054)  
深作村の「七名社」の演説会の入場券

7 預け書目  
(中村(宏)家 64)  
中村孫兵衛が七名社に預けた書籍の一覧



# 2 七人のその後



9 記(社費受取二付)(高橋(泰)家1062)  
鯨井勘衛宛の七名社費の領収書

明治維新により成立した新政府は、旧来の藩を廃止して府県を置き、薩摩や長州など有力藩出身の長官を赴任させ、地域に新たに大区・小区を置くといった中央集権的な改革を行いました。こうした制度は地域の反発を招き、各地での自由民権運動につながっていきました。

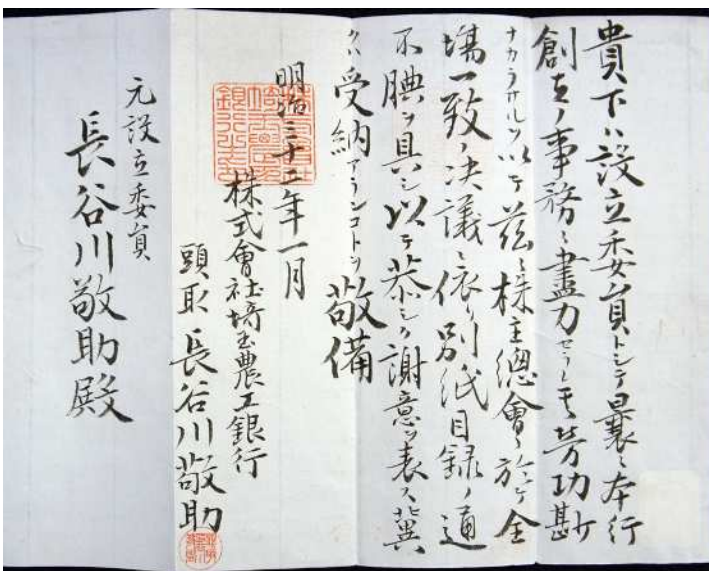
これをみた政府は、明治11年(1878)に地方三新法を制定、従来の郡ごとに郡役所を開設、府県会を設け、「地方税規則」により地方独自の財源を明確にしました。こうして限定的ながらも地方有力者の政治参加を認めていきました。

このような変化のなかで、七名社の人々は新設の郡長や郡書記に転身していきました。石川は国の官僚となりました。稲村・長谷川・中村・石坂は県会議員となり、このうち長谷川は後に県幹部となりました。やがて七名社は目立った活動をしなくなりますが、その後彼らは、銀行や鉄道会社の役員を務め、栃木県那須郡の原野開発や牧場経営に取り組むなど、それぞれ政治・行政・実業といった多分野で活躍しました。



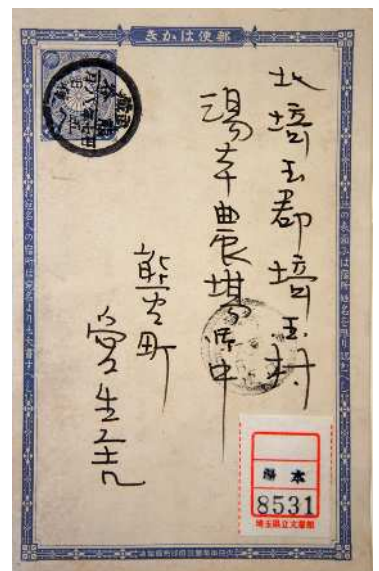
12 在監人仮葬者合葬碑石建設二付稟告  
(中村(宏)家76)  
刑死・獄死者のための墓碑

13 拝借地御払下願  
(中村(宏)家69-11)  
那須の原野の払い下げを求めた文書



15 農工銀行設立委員トシテ尽力ニ付感謝状  
(長谷川家885)  
銀行の設立に尽力した長谷川敬助に対する感謝状

20 乳牛売却の件ニ付葉書  
(湯本家8531)  
稲村貫一郎の愛生舎が湯本農場に乳牛の売却を提案



## 展示資料一覧

番号	原資料 写真の別	記号番号	資料名称	年代
1	写真	中村(宏)家 254	中村孫兵衛外六名・七名社々員記念写真	[明治 40 年 10 月 20 日](1907)
2	原資料	中村(宏)家 358	熊谷県治之儀二付投書	明治 8 年 3 月 25 日(1875)
3	原資料	中村(宏)家 57	七名社規約写(地券総合併高反別并地代金控帳のうち)	明治 8 年 4 月 16 日(1875)
4	原資料	長谷川家 964	石川弥一郎発長谷川敬助宛 七名社第二期結約之義二付書状	明治 11 年 1 月 30 日(1878)
5	原資料	長谷川家 950	加藤政之助発長谷川敬助宛 民権運動ニ当り流行ニ後レナラザル様書状	明治 13 年 1 月 15 日(1880)
6	原資料	若谷家 2054	政談演説会傍聴牌	明治 14 年 11 月 17 日(1881)
7	原資料	中村(宏)家 64	預ヶ書目(会議便法・交際論外二付)	明治 15 年 10 月 1 日(1882)
8	写真	新井(仇)家 27056	埼玉県人親睦会開催二付案内状	明治 18 年 11 月 24 日(1885)
9	原資料	高橋(泰)家 1062	記(社費受取二付)	明治 21 年 10 月 7 日(1888)
10	写真	長谷川家 762	埼玉県人間高麗郡長任命状	明治 12 年 3 月 17 日(1879)
11	写真	中村(宏)家 538	埼玉県人間高麗郡書記任命状	明治 12 年 4 月 11 日(1879)
12	原資料	中村(宏)家 76	在監人仮葬者合葬碑石建設二付稟告	明治 22 年 10 月(1889)
13	原資料	中村(宏)家 69-11	拝借地御払下願	明治 22 年 5 月 24 日(1889)
14	原資料	中村(宏)家 471	埼玉県大里郡長任命状	明治 29 年 4 月 1 日(1896)
15	原資料	長谷川家 885	農工銀行設立委員トシテ尽力ニ付感謝状	明治 32 年 1 月(1899)
16	原資料	長谷川家 886	目録(金式拾円贈呈)	明治 32 年 1 月 27 日(1899)
17	原資料	飯塚家 3311	熊谷銀行創立 10 年の記念品拝呈二付書状	明治 37 年 9 月(1904)
18	原資料	長谷川 1367	上武鉄道株式会社第五回報告	明治 35 年(1902)
19	原資料	飯塚家 6194	上武鉄道株式会社開通式及園遊会場	明治 44 年(1911)カ
20	写真	湯本家 8531	[乳牛売却の件二付葉書]	明治 37 年 8 月 5 日(1904)

埼玉県立文書館 主催 埼玉県立歴史と民俗の博物館 共催  
埼玉の人物「埼玉県最初の民権結社 七名社の人々」リーフレット

編集・発行 埼玉県立文書館  
埼玉県さいたま市浦和区高砂 4 - 3 - 1 8  
発行日 平成 30 年 1 月 23 日